



局防災訓練の紹介

令和4年度那覇市上下水道局防災訓練

大きな地震などの災害が発生すると、水道管が破損し、ご家庭から水が出なくなったり、トイレの水が流せなくなる場合があります。

上下水道局では、こうした災害時の初動体制の確立と危機管理意識の向上を図るため、毎年度防災訓練を実施しており、今年度は令和4年10月29日（土）、上下水道局庁舎と新都心公園の2カ所で局職員111名を参集し、那覇市で強い地震が発生したことを想定した防災訓練を実施しました。また職員その他、災害時の応援協定を結んでいる団体の皆様や新都心公園の周辺地域の市民の皆様に参加いただき訓練の充実を図りました。

上下水道局庁舎での訓練では、「職員の参集訓練」にはじまり、各班（総務・配水運用・管路復旧・応急給水・下水道）や応援協定団体が連携し、「災害対策本部の設置運営訓練」、「応援協定団体への応援要請訓練」、「応急計画の策定訓練」等を実施しました。



災害対策本部会議

新都心公園では市民参加型の訓練を計画し、応急給水車や公園の地下にある緊急貯水槽を使用し給水袋へ水を入れる「応急給水訓練」、マンホールの上にトイレを組み立てる「マンホールトイレ設置訓練」を実施し、周辺地域の市民の皆様には災害時の上下水道局の応急復旧活動について実際に体験していただきました。

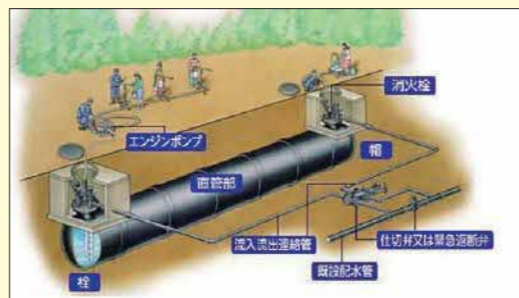


マンホールトイレ設置訓練

応急給水訓練

上下水道局としましては、いつ起こるかわからない災害に備え、災害が発生した時の応急復旧活動が迅速かつ効果的に行われるよう今後も定期的に訓練を実施し、災害につよい組織づくりに努めてまいります。

～ インフォメーション ～



今回の訓練の実施場所である那覇新都心公園は、地震等災害時の応急給水ポイントの場所となっており、地下には200㎡×2基の貯水槽が設置されています。貯水槽は水道施設に直結され震災時には遮断弁が閉じて応急給水用の水量が確保されるしくみになっています。人間の生命維持に必要な水の量は、災害時等3日までは1人1日当り3ℓといわれていますが、この貯水槽は約4万人×3日分の飲料水を確保できます。

災害用備蓄倉庫の完成

泊配水池内に建設していた上下水道局災害用備蓄倉庫は令和4年11月に完成しました。



完成後

近年では、全国各地において大雨や地震などによる未曾有の被害が発生しており、災害発生後の初動体制における資材又は物資などの備蓄は喫緊の課題となっています。

本工事は、第5次那覇市総合計画の政策で「災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり」を掲げており、災害時の水道施設の応急復旧資材や給水車、給水袋などを保管し、災害時には、各被災地へ必要な資材等の搬出を行うなど応急復旧活動の起点となる施設として建設しました。

【お問い合わせ】 水道工務課 TEL:941-7807 FAX:941-7827

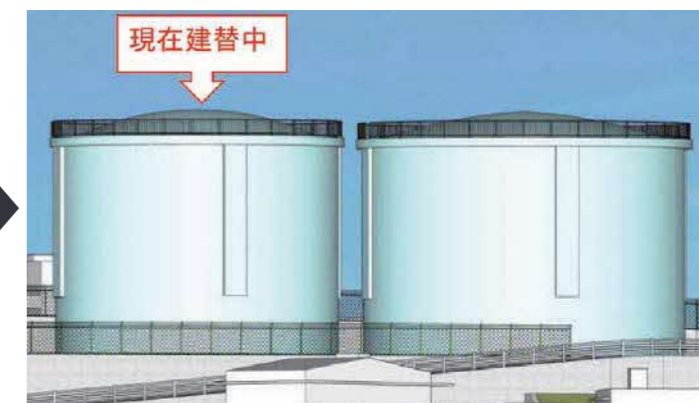
豊見城配水池の進捗状況

豊見城配水池は昭和49年3月に竣工し、建設後約48年が経過し経年による老朽化が進んでおり、配水池の耐震化を図るため建替工事を進めています。

現在、2基のうち、1基(2,100㎡)を取り壊し、その周辺環境を整備し、新たな配水池を建設しております。



1基目施工途中



完成イメージ図

【お問い合わせ】 水道工務課 TEL:941-7807 FAX:941-7827